

富士見町在宅ワーク就労支援セミナー【富士見町】

個別事業費	2,882千円
交付金額	2,161千円

地域の実情と課題

子ども・子育て支援に関する調査(R6年度)によると、富士見町は20歳以上の女性の就業率が全国平均より高く、共働きの夫婦は多い。しかし製造業・農業を中心とした町の産業構造により、働き方が限定されやすい傾向があり、ITスキルが育ちにくい側面がある。また、子育て世帯の6割以上が両立に不安を感じつつも、4～5割がパート・アルバイトに従事しており、今後も同形態での継続を望む層が約6割に上っている。以上より、時間に融通の利く職業選択のニーズはあるものの、仕事と子育ての両立に不安を感じる女性が多いことが推察できる。また、現状における就業環境が続いた場合、ワークライフバランスが崩れやすくなり、女性のキャリアアップも阻害されやすい環境であることが考えられる。

事業の特徴

委託事業者による全6回のセミナーとキャリアカウンセリング及び就労支援を実施。実施形式はオンライン（Zoom）と現地によるハイブリッド開催とした。セミナーの導入段階では、テレワークに不可欠な通信環境の整備と操作習得を徹底。その上で、Word・Excel等事務スキルの再確認に加え、コンタクトセンター業務を想定した電話・チャット対応のロールプレイを実施することで、即戦力として通用するコミュニケーション能力の向上を図る内容とした。また、本事業では単なるスキルの提供にとどまらず、先輩在宅ワーカーとの座談会や、各種適性診断による自己分析の機会などを実施。受講者のうちで就労希望者については、委託業者への登録や在宅ワーク案件への応募に向けた支援（情報提供、有益・注意点のアドバイス等）を行った。

事業の効果

参加申込数は定員30名に対して33件、定員30名でスタートし、途中3名が脱落したが27名が修了まで継続できた。27名のうち、キャリアカウンセリング移行者が16名、その後の就労支援実施者は6名となった。今回就労には至らなかった者9名は、家庭状況等のプライベートな理由により即座に就労することは困難だが、就労意欲は高く、環境が整い次第働く意向を示している。実施後アンケートにより96%が「実施意義があった」と回答しており、96%がスキル向上を認識している。

目的・目標

事業目的：町内の女性が、職業選択の幅を拡げ、社会生活における自己実現や、キャリアアップを達成することを目的とし、本セミナーを計画。
 事業目標：在宅ワーク等への潜在ニーズの高さと、広報誌・SNSおよび母親コミュニティでの周知が奏功し、目標超過につながった。
 事業KPI：参加者27名のうち、16名がキャリアカウンセリングを利用し、6人が就労支援に進んだ。残り9人についても、聞き取り等によると現時点の家庭事情を考慮するとすぐに就労できないという意向があったものの、就労意欲自体は認められた。

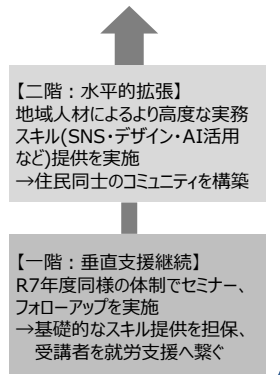
	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	リスティング事業受講者数（人数）	10人	27人	270%
事業KPI	受講者のうち就労支援により就労した者（%）	50%	22.2%	44.4%

連携団体

特定非営利活動法人たくさんの手、富士見町商工会、富士見町労務対策協議会 町内の子育て世代や、町内各企業に対し、当事業の周知にご協力をいただいた。

今後の課題

参加者のスキルや就労状況が広く、全員に適応する難易度の設計に限界があった。今後はある程度のスキルや知識を有する参加者に向けたスキルセットの多層化を展開したい。また、家庭事情等により就労できない層も多く、託児や柔軟な受講方法の確保、修了後のフォローアップの場の整備など、中長期で学習準備を続けられる環境づくり、コミュニティ形成が課題である。R8年度ではこれまでの基礎支援（垂直支援）を維持しつつ、地域リソースを活用した事業の拡張（水平支援）を同時に行う「二階建てモデル」の事業計画を進めていく。



事業の概要

富士見町在宅ワーク就労支援セミナー

町内の女性（富士見町民及び町内在住の者、町内に在学・在勤する者）が、職業選択の幅を広げ、社会生活における自己実現や、キャリアアップを達成することを目的とし、本セミナーを計画。

全6回のITスキルの上キリング講座を実施する。加えて、当該講座の受講者に対し、在宅ワークに特化した就労支援を行う。

実施内容

第1回

- Zoomの基本操作
- Googleアカウント作成、Gmail・カレンダー等の基礎操作
- チャットツール（Chatwork）アカウント作成とグループチャット参加

第2回

- コンタクトセンター業務の概要、
- 電話・チャット対応のポイント、ロールプレイ

第3回

- Word講座（画面構成、書式設定、案内文作成課題）

第4回

- Excel講座（入力、表作成、基本関数、グラフ作成等）

第5回

- 在宅ワーク就労セミナー（在宅ワークの種類・必要なツール・仕事の探し方等）
- 先輩在宅ワーカーとの座談会

第6回

- お仕事体験（リサーチ、フォームマーケティング、コール業務のミニタスク）
- 適性検査・テレワーク適応力診断・タイピングテスト

事業の流れ

STEP 1 デジタルスキルの上キリング

委託事業者による全6回のセミナーを実施。

STEP 2 キャリアカウンセリング及び就労支援の実施

希望者を対象に、担当カウンセラーによる個別キャリアカウンセリング及び先輩在宅ワーカーとの個別相談をオンラインで実施。更に、就労希望者については、委託業者への登録や在宅ワーク案件への応募に向けた支援（情報提供、有益・注意点のアドバイス等）を実施。

職業選択の幅拡充・具体的な就労行動へ

結果・実績

参加申込数は定員30名に対して33件あり、定員30名でスタート。修了まで継続できた27名のうち、キャリアカウンセリング移行者が16名、その後の就労支援実施者は6名。残り9名は、家庭状況等のプライベートな理由により即座に就労することは困難だという状況だが、就労意欲は高く、環境が整い次第働く意向を示した。実施後アンケートにより96%が「実施意義があった」と回答しており、96%がスキル向上を認識している。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	上キリング事業受講者数（人数）	10人	27人	270%
事業KPI	受講者のうち就労支援により就労した者（%）	50%	22.2%	44.4%

